

No. **249****2004****いつでも どこでも学べることの大切さ**

石川県教育委員会事務局生涯学習課 課長 谷内厚子



今年4月、石川県教育委員会生涯学習課長に就任しました。

生涯学習とは、まさに人づくりであり地域づくりであると考えます。21世紀の大きな課題である少子高齢化、高度情報化、地方分権化等に対応するため、生涯学習に携わる行政としては、まず現状を正しく受け止め、問題点等を分析していかねければなりません。そのためには、市町村の住民のニーズを充分に把握し、その実現にむけて行政として何をどのように支援できるのか、具体的な施策を示していかなければならないと考えます。

昨今、県財政が厳しいことから、創意工夫を凝らした新たなサービスを展開していくことが望まれるわけであります。従ってこれからは、これまで以上に、公民館や図書館あるいは生涯学習センター等の社会教育施設が中核となって、他の部局や機関と連携して、様々な支援機能を持つ課題解決のための教育機関として、活性化していかなければならないと考えます。

行政として県民のニーズに広く応えるためにも、今後はそれぞれの果たすべき役割を一層明確にし、石川県の生涯学習の質が低下することのないように、維持・推進できるよう努めて参りたいと思います。

そして、県民に「いつでも」「どこでも」生涯にわたって学び続けることができるような充実した生涯学習の機会や場をこれからも提供していきたいものです。

**ふるさと学びコーナー**

…県内各地の民話本も展示しています…

**県内市町村の生涯学習への取組とその成果と交流展**

5月29日(土)山岸 勇県教育長の出席のもと、県内市町村関係者の参加を得、展示ロビーで「ふるさと学びコーナー」が新設展示されました。

このコーナーは「ふるさと教育推進事業」の一環として実施された市町村の取り組みを一度に集め4期に分け展示するものです。

地域性豊かな取組を作品やパネルで展示してあります。現在は第2期の展示が行われています。



“出会い” (1)

**平成16年度 クリエイティブライフ講座を終えて**

所村 敬治氏 (金沢市)

定年で金沢に戻って4年、地域のコミュニティーづくりに役立てばと、長町朝市を主体とする街づくりに取り組み、或いは史跡を訪ねる会を立ち上げてきた。これらの活動を根強く持続するには、時と環境にあった創造的企画が要求され、それには自ら学ぶことが大切との思いからクリエイティブライフ講座に挑戦して、希望者の多い中を幸運にも受講の機会を得た。

盛り沢山な講座メニューは石川の伝統工芸から始まり、加賀藩を中心とした歴史や郷土に咲いた文学の世界、郷土民話、更には現代の生活に即した福祉問題、環境問題にも及び、それらを踏まえた街づくりや商店街の活性化から地場産業の行方と、地域に密着した知識を予想した以上に取得することができた。

これらの基礎知識は今後の市民活動の糧となり、余生の希望に繋がる道であることを信じている。このように創造の歓びを与えて頂く講座を企画された方々に、深甚なる感謝を捧げたい。

